

FAX: 092-726-9886

URL <http://genshobo.com/> e-mail [books@genshobo.com](mailto:books@genshobo.com)

# 読んだ、知った、考えた

2016  
2022

河谷史夫

四六判・376頁 ISBN 978-4-86329-266-6  
定価 2000円 +税

4月  
下旬刊

言いたいことではなく、言うべきことを言おう

◆世間を知るためのコラム 85 篇

人、人生、政治、戦争、新聞、ジャーナリズム、コロナ——

会員制で多くのジャーナリストに定評のある月刊誌「選択」に、2000年から23年間にわたって連載を続けており、本書はその中から2016～2022年の7年分をまとめたもの。本と人をめぐり国内海外の社会情勢にも常に目を配りながら深く掘り下げたコラムが長く読みつがれている。多様で幅広い視点で、各界の人物へ接近するその筆力が素晴らしい。

本と人をめぐる 85 の物語 目次抄

I 人の章

たいまつのは火消える  
オカラはカスにあらず  
オリンピックの虚実

II 人生の章

予知は不可能と知る  
西郷隆盛の不思議さ  
かい人 21 面相の暗黒

III 政治の章

大日本帝国と北朝鮮  
記者をなぜ殺したのか  
「角栄潰し」の手下人  
アベノヒトリズモウ

IV 戦争の章

戦争はある日突然に  
メルケルとプーチン  
独裁者は殺戮を好む

V 新聞・ジャーナリズムの章

キャスターの運鈍根  
記者シーハンの闘い  
冤罪事件と新聞記者

VI コロナの章

コロナとチャベック  
嘘から出た東京五輪  
義烈の人—渡辺京二さんを悼む

《著者の横顔》 河谷史夫(かわたに・ふみお)

1945年生まれ。早稲田大学卒業。70年、朝日新聞社に入社。社会部記者、編集委員、特別編集委員、論説委員を歴任。94年4月から7年、書評委員を務め、2003年1月から5年、コラム「素粒子」を書いた。著書に『読んだふり』(洋泉社)、『何度読んでも、いい話』(垂紀書房)、『新聞記者の流儀』(朝日文庫)、『夜ごと言葉に灯がともる』(彩流社)、『酒と本があれば、人生なんとかやっつけていける』『持つべき友はみな、本の中で出会った』(以上、言視舎)などがある。

【FAX: 092-726-9886】

流通センター 取扱品  書店・帖合  ご担当者様	冊	読んだ、知った、考えた	2016 2022	河谷史夫 定価 2000円+税 ISBN 978-4-86329-266-6
	冊	未踏の野を過ぎて		渡辺京二 定価 2000円+税 【2刷】 ISBN 978-4-86329-063-1
	冊	生き直す 免田栄という軌跡		高峰武 定価 2000円+税 【2刷】 ISBN 978-4-86329-238-3
	ご注文日 様 [ / ]	弦書房 —Genshobo—	〒810-0041 福岡市中央区大名2-2-43 ELK大名ビル301 TEL:092-726-9885 FAX:092-726-9886 URL <a href="http://genshobo.com/">http://genshobo.com/</a> e-mail <a href="mailto:books@genshobo.com">books@genshobo.com</a>	